

教員推薦図書 2021年6月

推薦教員	国際言語文化学科 教授 今仲 昌宏 先生	【推薦コメント】 現在、米国では“Black Lives Matter”など人種差別問題が要因となって分断化が進んでいるといわれています。トランプ前大統領と歴代大統領の人種問題への方針等が大きく異なったことなどから、改めて米国における人種差別、特に黒人奴隷の歴史を知るのにとてもよい本が『ルーツ』です。タイトルの roots はもともと「根」の意から「(社会的・文化的・民族的な) 出自、先祖」という意味です。この物語は奴隷貿易を通じて、米国に連れてこられたヘイリー自身の先祖であるガンビア出身のクンタ・キンテを始祖とする黒人一家の苦難の物語です。三世代にわたる口伝による一家の歴史を日々の生活を通じて克明に描いたものです。作者のヘイリー自身が、祖先の系譜をガンビアにまで取材して書き、ベストセラーになりピューリッツァー賞を受賞しました。これを読むと黒人奴隷が乗り越えてきた苦難の歴史を垣間見ることができます。少々古いですが、1977年に制作された長編ビデオ・ドラマ版もあります。
書名	ルーツ 上巻, 下巻	
著者名	アレックス・ヘイリー著	
出版社	社会思想社	
請求記号	上 288.2 / Hal / 1 下 288.2 / Hal / 2	
資料ID	上 1013539 下 1013540	